

# 議会の事業評価について

守谷市議会

# 目次

1. 導入の経緯	1
2. 実施までの経過	1
3. 決算予算特別委員会の概要	3
4. 事業評価後について	7

## 1. 導入の経緯

通常、決算特別委員会は9月定例会時に、議長を除く全議員で構成し、前年度の決算審査を行っていたが、議長発案により、決算審査の結果や指摘事項について翌年度の予算編成に反映させるため、決算審査時に事業評価を取り入れるための検討を行うこととした。

平成24年10月に総務常任委員会で、既に事業評価を行っていた神奈川県茅ヶ崎市に視察研修を行い、その後も、平成25年2月の議会運営委員会の視察研修でも、先進地である多摩市での研修を行い、試行的に総務常任委員会で2事業の評価を行いながらスケジュールの検討等を行った。

## 2. 実施までの経過

実施までの経過		
H24.10.12	総務常任委員会	茅ヶ崎市議会視察研修
H25. 2. 5	総務常任委員会 協議会	事業評価について、茅ヶ崎市議会での研修内容の検証と協議を行う。
H25. 2. 8	議会運営委員会	総務常任委員会視察内容報告
H25. 2. 15	議会運営委員会	多摩市議会視察研修
H25. 2. 28	議会運営委員会	事業評価の実施について検討を行う。 総務常任委員会（議長を含む6名）が茅ヶ崎市と多摩市の事務事業評価を参考に、導入に向けてスケジュール等の検討を行うことを決定する。
H25. 3. 8	総務常任委員会 協議会	事業評価についてどのように進めるか協議。 総務常任委員会で、試行的に事業評価を行うことに決定する。
H25. 3. 25	総務常任委員会 協議会	平成24年度予算説明書から、総務常任委員会担当事業の中から <b>2事業選択</b> することに決定する。 ※H23年度の執行部作成の事務事業評価表を参考とする。
H25. 4. 1	総務常任委員会 協議会	事業の選定（H23事務事業評価表より） 1）アーカス事業 2）市税収納管理事務 ※使用するシートは多摩市のシートをそのまま使用することで決定する。

H25. 4. 11	総務常任委員会 協議会	シート作成のため調査（担当課及び関係者等の事業内容の説明） 【アーカス事業】 13：30～市役所和室 出席者 事業者 2名，企画課 4名 【市税収納管理事務】 15：30～市役所和室 出席者 納税課 3名
H25. 5. 1	総務常任委員会 協議会	5月7日開催の全員協議会での説明について協議 各自シート①の作成→5月7日までに提出 【アーカス事業・市税収納管理事業】
H25. 5. 7	総務常任委員会 協議会	シート②の作成。全員協議会の資料作成を行う。
H25. 5. 7	全員協議会	総務常任委員会から全議員に事業評価の説明 ※ スケジュール，シート①②の説明 ※ 各議員から質疑
H25. 5. 21	総務常任委員会 協議会	スケジュール等の見直し ※ 決算予算特別委員会の設置→分科会での調査→会派ごとにシート①の作成→分科会ごとにシート②の作成など。 ※ シート①はすべての事業に各会派の意見が取り入れられるよう会派ごとに作成する。
H25. 5. 27	全員協議会	事業評価のスケジュールの説明
H25. 6. 3	総務常任委員会 協議会	スケジュールや審査の方法等の再確認 今後他の議員への指導などを協議



総務常任委員会協議会

### 3. 決算予算特別委員会（事業評価）の概要

#### 1. 守谷市事務事業評価のスケジュール

資料1

##### (1) 第2回定例会初日（H25.6.11）

###### ①決算予算特別委員会の設置

構成：議長を除く全議員。ただし、申し合わせにより議会選出の監査委員は決算審査には加わらないこととする。

正副委員長の互選

##### (2) 第1回決算予算特別委員会の開催

###### ①分科会の設置

構成：各常任委員会委員で構成され委員長を座長とする。

名称：総務分科会，都市経済分科会，文教福祉分科会

分科会の開催は座長の招集により行う。

選定シートを全委員に配付

資料2

※6月定例会最終日前日までに各座長は2事業を選定し提出

##### (3) 常任委員会終了後各分科会の開催

###### ①各分科会2事業の選定を行う（2事業×3分科会）

##### (4) 定例会最終日（H25.6.20）

###### ①「平成25年決算予算特別委員会事業評価選定事業一覧表」作成

###### ②市長側（担当部長）に提出

資料3

##### (5) 調査・研究のための分科会の開催（7～8月）

分科会ごとに調査・研究する。意見交換会等の開催

分科会以外の委員も積極的に傍聴する。

#### 分科会スケジュール（調査・研究・シート作成）

月 日	会 議	場 所	出席者
7月23日	都市経済分科会	第1委員会室	生活経済部長ほか担当者
7月23日	総務分科会	第1委員会室	総務部長ほか担当者
7月26日	文教福祉分科会	第1委員会室	教育部長ほか担当者
7月31日	文教福祉分科会	議会応接室	夕べのコンサート実行委員会会長ほか1名と意見交換
8月 1日	都市経済分科会	議会応接室	防犯指導員2名と意見交換
8月 9日	都市経済分科会	シルバー人材センター	違法自転車撤去作業担当者（シルバー人材）と意見交換
//	文教福祉分科会	第1委員会室	シート②まとめ作業
//	総務分科会	第1委員会室	シート②まとめ作業
8月10日	都市経済分科会	守谷駅駐輪場	現地調査
//	都市経済分科会	中央公民館	防犯協会会長と意見交換



都市経済分科会（防犯指導員意見交換会）



都市経済分科会現地調査（駅放置自転車）

(6) シート作成及び提出スケジュール

- ①7月29日 各委員に資料配付  
各会派はシート①を作成（6事業） 資料4
- ②8月 5日 会派からシート①を提出  
まとめしだい各座長にシート①を配付  
各分科会は、分科会を開きシート②を作成 資料5
- ③8月12日 各分科会からシート②を提出
- ④8月14日 正副委員長に取りまとめしだいのものを送付（メール）
- ⑤8月28日 全委員にシート②を配付



文教福祉分科会（シートまとめ作業）

(7) 第3回定例会（第2回決算予算特別委員会）

各分科会で作成された事業評価のまとめ

- ① 「平成24年度守谷市議会重点事業評価」を作成

**資料6**

- ② 「平成24年度守谷市議会重点事業評価」に関する決議を本会議に提出

- ③ 「平成24年度守谷市議会重点事業評価」に関する決議を市長に提出

**資料7**

第3回定例会（9月）スケジュール（第2回決算予算特別委員会）

月日	会議	場所	審議内容
9月 5日	決算予算特別委員会	全員協議会室	H24 年度決算審査
9月 6日	決算予算特別委員会	全員協議会室	//
9月 9日	決算予算特別委員会	全員協議会室	午前：分科会評価の修正 午後：承認
9月10日	決算予算特別委員会	—	作業が終了したため 休会
9月20日	本会議	本会議場	本会議に提出

第3回定例会後のスケジュール（分科会）

月 日	会 議	場 所	出席者
9月25日	都市経済分科会 補足説明	第1委員会室	議会：委員長，正副座長 執行部：副市長ほか担当部課長
9月26日	文教福祉分科会 補足説明	第1委員会室	議会：正副委員長，正副座長 執行部：副市長ほか担当部長・ 次長・センター所長
9月27日	総務分科会補足 説明	第1委員会室	議会：委員長，正副座長 執行部：副市長ほか担当部課長

（8）第3回 決算予算特別委員会（平成25年10月30日）

執行部との意見交換会（執行部からの質疑）

議会側：全委員，議長

執行部：副市長，各部長，上下水道事務所長，会計管理者ほか事業担当者



副市長ほか執行部との意見交換会のようす



左側：執行部席 右側：議会席



## 4. 事業評価後について

市長側から、「平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について」が提出される。資料8

予算内示会時に担当部長から説明を受ける。ただし、議会側からの質疑は決算予算特別委員会で行うためなしとする。

決算予算特別委員会で、議会の事業評価が平成26年度予算に反映されているかを検証。

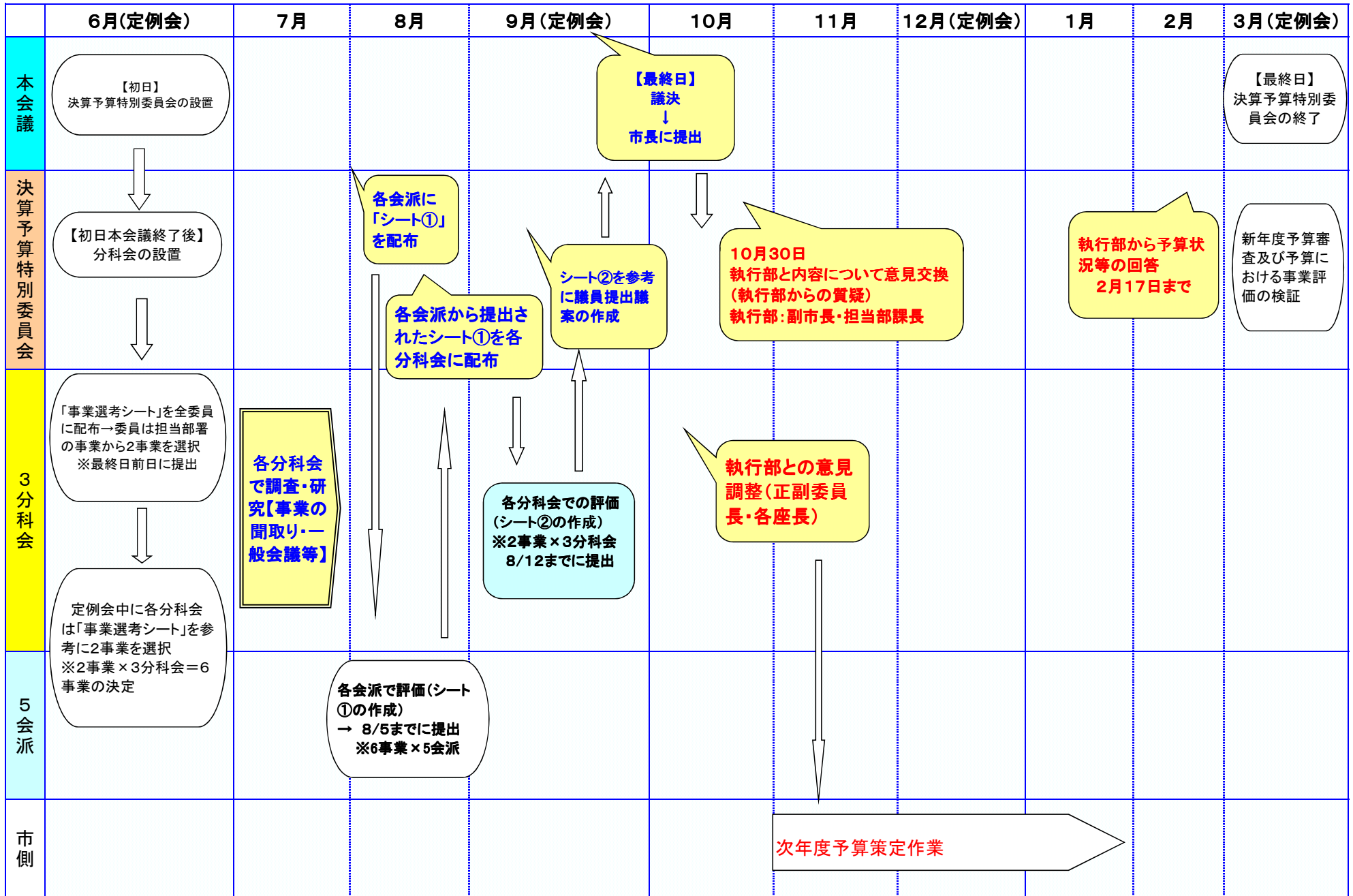
なお、通常の平成26年度予算審議は通常どおり行い、決算予算特別委員会の調査期間が平成26年第1回定例会最終日であるため決算予算特別委員会を解散とする。

### 平成26年第1回定例会（3月）スケジュール（決算予算特別委員会）

月日	会議	場所	審議内容
2月25日	予算内示会	全員協議会室	H26年度予算について
3月7日	決算予算特別委員会	全員協議会室	H26年度予算審査
3月10日	決算予算特別委員会	全員協議会室	//
3月11日	決算予算特別委員会	全員協議会室	今後の事業評価について（修正事項等）
3月20日	本会議	本会議場	委員長報告 解散

# 平成25年 議会事業評価スケジュール

資料№1



# 事業選考シート

分科会名	
------	--

事業名①
選考理由
事業名②
選考理由

平成25年決算予算特別委員会 事業評価選定事業一覧表

資料No. 3

分科会名		事業名	所属部 所属課	会 計	選定理由
1	総務	アーカスプロジェクト参画事業	総務部 企画課	一般会計	アーカスプロジェクトは、茨城県主催、守谷市の共催で、今年で20周年を迎える。アートを活用した地域交流を行っているが、市民からは現代アートや事業内容がわかりにくいなどの意見があり現状と取り組みを検証する。
2		市内循環バス（コミュニティバス）運行事業	総務部 企画課	一般会計	公共交通空白地域の解消を図るため、バス6台で2ルートの運行を行っている。平成25年5月からルート・ダイヤの変更をしているが、更なる市民のニーズにあわせた路線の効率化や利便性の向上、事業者の運行形態等を検証する。
3	都市経済	放置自転車対策事業	生活経済部 交通防災課	一般会計	駅周辺における違法駐輪自転車には、警告票の貼付などの啓発活動に努めているが、特に土曜・日曜日の違法駐輪が多い。駅前の美観や歩行者の安全面からも対策の方法等を検証する。
4		防犯対策事業	生活経済部 交通防災課	一般会計	市民の安全・安心な生活を確保するため、1人ひとりの防犯意識を高めることが重要と考える。また、守谷駅周辺における防犯カメラの設置等防犯対策の検証を行う。
5	文教福祉	タベのコンサート事業	教育委員会 生涯学習課	一般会計	毎年8月の土曜日（年4回）市役所中庭や庁舎ロビーにおいて、市民参加型コンサートを行っているが、今年で18年目を迎える。幅広い市民の参加が望まれるため、周知方法や実行委員会のあり方も含め検証する。
6		給食センター生ごみ堆肥化事業	教育委員会 学校給食センター	一般会計	給食センターで出る生ゴミを、センターに設置してある生ゴミ処理機にて堆肥化している。常総環境センターでも同様の事業を行っているため、必要性について検証する。

平成 年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

会派名	
-----	--

NO.	予算科目	事業名	担当分科会

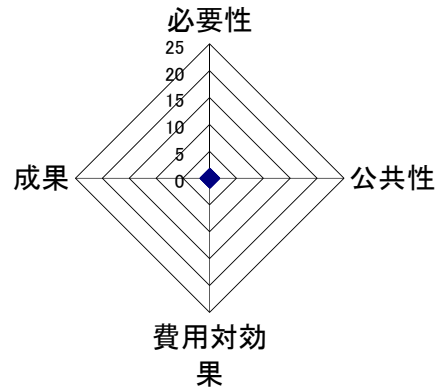
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点)		
	②必要性が高い(20点)		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		
	⑤必要性が低い(5点)		
	⑥必要性がない(0点)		
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点)		
	②公共性が高い(20点)		
	③どちらかといえば公共性が高い(15点)		
	④どちらかといえば公共性が低い(10点)		
	⑤公共性が低い(5点)		
	⑥公共性がない(0点)		
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点)		
	②効果的である(20点)		
	③どちらかといえば効果的である(15点)		
	④どちらかといえば非効果的である(10点)		
	⑤効果が少ない(5点)		
	⑥効果がない(0点)		
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点)		
	②成果がある(20点)		
	③どちらかといえば成果がある(15点)		
	④どちらかといえば成果がない(10点)		
	⑤成果が少ない(5点)		
	⑥成果がない(0点)		

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
6	きわめて良好である 100点	0
5	良好である 76~99点	
4	おおむね適正である 51~75点	
3	問題がある 26~50点	
2	かなり問題がある 1~25点	
1	不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)



守谷市長  
会 田 真 一 様

守谷市議会  
議長 松 丸 修 久

平成 2 4 年度守谷市議会重点事業評価に関する決議について（お知らせ）

平成 2 4 年度決算認定の審査にあたり、決算予算特別委員会におきまして事業の評価を行いました。

つきましては、決議書の写しを添付いたしますので、市長におかれましては、決算予算特別委員会設置の目的により、議会の事業評価を平成 2 6 年度の予算編成に十分反映されるようご配慮いただきますとともに、その対応について、回答くださるようよろしくお願いいたします。

## 平成24年度守谷市議会重点事業評価に関する決議

別紙のとおり、守谷市議会重点事業評価を行ったので、次年度予算編成において、十分に反映させることを強く求める。

平成25年 9月20日

茨城県守谷市議会



# 平成24年度守谷市議会重点事業評価

守谷市議会

## 事業評価結果表

	事業名	評価及び提案	
1	アーカスプロジェクト 参画事業	評 価	全会一致
		<p>現代アートは一般的に分かりにくく、参加者は、若手芸術家志望や学生の他は特定少数であり、市民全体からのニーズや認知度は低いのが現状である。しかし、20年にわたり27ヶ国と地域から85名の若手芸術家を迎え、もりや学びの里を拠点とした芸術活動を支えるこの事業は、文化庁や県、守谷市はもとより、多くの企業からの協賛により支えられている事業であり、公共性は高いので、もっと市が積極的にかかわり情報を発信し、市民の理解を得るべきだ。現代アートの制作過程を見たり、参加できることから若手芸術家が育っている。アーティストインスクールは小中学校で大変好評である。</p>	
		事業に対する提案	改善し継続する
		<p>文化庁と茨城県から各500万円、民間企業からも協賛を受けている事業だが、市では500万円の負担と、場所の提供を行っている以上、県との役割分担を明確化し、市の役割をしっかりと果たしながら、今後の展望を明確にして、現代アートを活用した魅力あるまちづくりに市として積極的に取り組む。</p> <p>アートと地域をつなぐ交流プログラムの更なる充実拡大や市のイベント参加で、多くの市民をまきこむ工夫をする。小中学校での子ども達との交流や出前講座を増やす。守谷の文化活動グループとの交流を図る。アーティストがいるときだけでなく、通年でアーカスの活動が見られるようにする。等々、改善し発展させてほしい。また、取手・牛久、水戸・全国など、全国の様々なアーティスト・イン・レジデンスとの連携で、まちおこしの参考にすることも考えられる。文化庁や県の子算はいつごろまで続くのか、更に他の企業にも協賛を依頼するのか、今後考慮していかなければならない。</p>	

2	市内循環バス（コミュニティバス）運行事業	評価	全会一致
		<p>交通弱者にとって、どちらかといえば必要性が高い。毎日通勤、通学に利用している市民にとっては、無くてはならない事業である。平成24年度に行ったアンケート調査でも80%が必要と回答している。しかしその中で、利用しているのは30%の人であった。公共性は高いが、利用者の少ない赤字路線の運行は民間で出来ないため、市が運行せざるを得ないが、そこにどれくらいの予算をとるかである。9千万円近くの運行費用は市民一人当たり年間1400円の負担である。フリー降車制度や新規ルートの開設など利便性を高める努力は見られるが、予算を健全化しようという改善の方向性が見えない。</p>	
		事業に対する提案	改善し継続する
		<p>無駄に空気を運んでいるという批判がある。費用対効果を考え、9千万円以上の費用をかけないようにする。また、利用者のニーズに沿った、複数の交通手段をとり入れる等の早期改革を望む。例えば、通勤、通学の時間帯は、駅への上り便数を増やし、下りをノンストップにもどす。利用者の少ない日中の時間帯は、便数を見直し、デマンド等の代替手段を模索するなど、大掛かりな改革を行ってほしい。高齢者や障がい者のための通院や買い物などの移動手段として、行きたいときに目的地に直接行ける、デマンドタクシーを活用することで、公共交通を補完できるものと考えられる。デマンドタクシーなら、個人負担を上げることにも考慮し、全体の経費削減を実現できる。ルートによってはNPOに委託することも可能である。市内循環バス（コミュニティバス）運行事業としては縮小し、モコバスに代替する交通手段を模索すべきである。</p>	

3	放置自転車対策事業	評 価	全会一致
		必要性, 公共性が高く, 事業費に対しての効果は上がっているが, 目に付くような看板の設置など工夫の余地がある。	
		事業に対する提案	拡充する
駐輪台数を確保するため, 新たな駐輪場の増設を検討する。また, 時間帯の見直しや人員の配置等を含め, より効果的な方策を考える。一時保管場所を変更し, 撤去も定期的かつ継続的にきちんとやる。市民の意識改革のためにも, 「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐輪場の整備に関する条例」及び「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐輪場の整備に関する条例施行規則」をいかすべきである。防犯カメラの設置等も検討する。そのためには予算拡大の検討が必要である。			
4	防犯対策事業	評 価	全会一致
		必要性, 公共性ともに高く, 少ない費用で効果をあげている。ボランティアの活動が大きい。市民全体の防犯意識の向上につながるよう啓発活動を継続する。	
		事業に対する提案	拡充する
将来の生活不安などから, 高齢者の万引き犯罪が増えつつある。パトロールだけではカバーしきれないことがあり, 心のケアが必要である。また, 振り込め詐欺等の被害に遭わないように啓発が大事。行政とボランティア及び関係機関との情報の共有, コミュニケーションが大事である。子ども(小学生)に防犯教育をするとともに, 青少年の犯罪の抑制を行い, 犯罪を起こさせない攻めの防犯活動で抑止力を高める。また, 防犯指導員の増員を図る。			

5	夕べのコンサート事業	評 価	全会一致
		真夏の恒例行事として市民に認知されているが、18年も経過しマンネリ化しているように思われる。予算の使い方、運営の仕方、内容等新しい工夫が必要であると思われる。	
		事業に対する提案	改善し継続する
		マンネリ化を打破するため、現役員の中に若く新しい人材をいれて企画する。実行委員会は、参加グループを若返らせる事によって若い人の発想を取り入れる。役員関係は、年を重ねた人と若い人のバランスを考える。出演者数、集客数の目標を毎年掲げ、どのように達成するか検討し進める。 総経費のうち、職員の人件費の割合が多いため、ボランティアなどを活用し、職員の負担の軽減を図る。	
6	給食センター生ごみ堆肥化事業	評 価	全会一致
		給食センター生ごみ堆肥化事業発足の平成12年当時は、Co2対策やリサイクル事業として成果があったが、現時点で常総環境センターでの生ごみ堆肥化事業が行われている状況からすると、そちらに一本化すべき。	
		事業に対する提案	休止・廃止する
		出来るだけ早い時期に、常総環境センターが行っている生ごみ堆肥化事業に移行すべきである。移行するためにどのような問題があるのか調査し、現段階で問題解決の方策を作成し、計画的に移行する。	

	事業名		
1	アークスプロジェクト 参画事業	事業に対する提案	改善し継続する
		県との役割分担を明確化し，市の役割をしっかりと果たしながら，今後の展望を明確にして，現代アートを活用した魅力あるまちづくりに市として積極的に取り組む。 アートと地域をつなぐ交流プログラムの更なる充実拡大や市のイベント参加で，多くの市民をまきこむ工夫をする。小中学校での子ども達との交流や出前講座を増やす。守谷の文化活動グループとの交流を図る。通年でアークスの活動が見られるようにする。等々，改善し発展させてほしい。また，取手・牛久，水戸・全国など，全国の様々なアーティスト・イン・レジデンスとの連携で，まちおこしの参考にすることも考えられる。文化庁や県の予算はいつごろまで続くのか，更に他の企業にも協賛を依頼するのか，今後考慮していかなければならない。	
		所管部署の考え方	
		市としては，アークスプロジェクト実行委員会において，市民との交流や，市の芸術・文化の向上に寄与するプログラムが企画されるよう提案する。 また，予算の確保についても，引き続き努力するよう実行委員会に対し要望する。	
		平成26年度予算への対応	
		平成24年度，平成25年度と同額の5百万円を要求する。	

平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について

	事業名		
2	市内循環バス（コミュニティバス）運行事業	事業に対する提案	改善し継続する
		<p>費用対効果を考え、9千万円以上の費用をかけないようにする。また、利用者のニーズに沿った、複数の交通手段をとり入れる等の早期改革を望む。例えば、通勤、通学の時間帯は、駅への上り便数を増やし、下りをノンストップにもどす。利用者の少ない日中の時間帯は、便数を見直し、デマンド等の代替手段を模索するなど、大掛かりな改革を行ってほしい。デマンドタクシーを活用することで、公共交通を補完できるものと考えられる。ルートによってはNPOに委託することも可能である。市内循環バス（コミュニティバス）運行事業としては縮小し、モコバスに代替する交通手段を模索すべきである。</p>	
		<p>所管部署の考え方</p>	
		<p>モコバス運行経費が9千万円未満を維持できるよう、引き続き利用促進に努める。また、利用の実態やニーズの把握のために実施した、乗客乗降状況調査や市民アンケートの結果を踏まえ、引き続き公共交通と福祉の担当課レベルの情報交換を行い、市民のニーズにきめ細かく対応できる交通機関のあり方について検討する。</p>	
		<p>平成26年度予算への対応</p>	
<p>モコバス運行経費として約8千9百万円を計上する。</p>			

平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について

	事業名		
3	放置自転車対策事業	事業に対する提案	拡充する
		<p>駐輪台数を確保するため、新たな駐輪場の増設を検討する。また、時間帯の見直しや人員の配置等を含め、より効果的な方策を考える。一時保管場所を変更し、撤去も定期的かつ継続的にきちんとやる。市民の意識改革のためにも、「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐輪場の整備に関する条例」及び「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐輪場の整備に関する条例施行規則」をいかすべきである。防犯カメラの設置等も検討する。そのためには予算拡大の検討が必要である。</p>	
		<p>所管部署の考え方</p>	
		<p>自転車駐車場の利用状況から不足していることを認識しており、増設に向けた協議を行っている。</p> <p>駐輪指導員の配置については、配置時間帯を午前7時から午後4時までの間でランダム配置とすることで、常に指導を行っているような状況を作り、その効果を検証後、配置時間の再検討を行う。</p> <p>なお、違法駐輪自転車の強制移動（移動保管料徴収）を行った結果、一時的に違法駐輪が減少したため、今後も定期的に行う。</p> <p>防犯カメラの設置については、防犯対策事業と合わせて設置することとした。</p>	
		<p>平成26年度予算への対応</p>	
		<p>自転車駐車場の増設については、協議中であるため計上はなし。</p> <p>駐輪指導員についても、ランダム配置を行った結果を検証した後に、今後の方針を決定するため計上はしていない。</p> <p>防犯カメラについては、平成25年度の補正で30基分の設置費を計上した。</p>	



平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について

	事業名		
4	防犯対策事業	事業に対する提案	拡充する
		<p>将来の生活不安などから、高齢者の万引き犯罪が増えつつある。パトロールだけではカバーしきれないことがあり、心のケアが必要である。また、振り込め詐欺等の被害に遭わないように啓発が大事。行政とボランティア及び関係機関との情報の共有、コミュニケーションが大事である。子ども（小学生）に防犯教育をするとともに、青少年の犯罪の抑制を行い、犯罪を起こさせない攻めの防犯活動で抑止力を高める。また、防犯指導員の増員を図る。</p>	
		<p>所管部署の考え方</p> <p>高齢者の犯罪に伴う心のケアが必要であるとのことから、担当部署との協議を行い、方策を検討して行く。振り込め詐欺の防止のための啓発活動を、防犯連絡員協議会を中心とした防犯関係団体や消費生活相談センターと連携し行う。</p> <p>子どもの防犯教育及び青少年犯罪を抑制するため、警察等防犯関係機関との連携を強化する。また、防犯連絡員については、過去5年間で70名の増員を見ているので、今後は、欠員補充をメインとした委嘱となる。</p>	
		<p>平成26年度予算への対応</p> <p>犯罪抑止力に絶大は効果を発揮する防犯カメラの設置費用を計上した。                      （平成25年度補正：30基、平成26年度予算：30基、平成27年度予算：40基予定）                      その他の防犯対策は、ボランティアによる活動がメインであるため、予算の増額はない。</p>	

平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について

	事業名		
5	タバのコンサート事業	事業に対する提案	改善し継続する
		<p>マンネリ化を打破するため、現役員の中に若く新しい人材をいれて企画する。実行委員会は、参加グループを若返らせる事によって若い人の発想を取り入れる。役員関係は、年を重ねた人と若い人のバランスを考える。出演者数、集客数の目標を毎年掲げ、どのように達成するか検討し進める。</p> <p>総経費のうち、職員の人件費の割合が多いため、ボランティアなどを活用し、職員の負担の軽減を図る。</p>	
		所管部署の考え方	
		<p>マンネリ化の対策として、運営委員会の委員構成を見直し、若い委員も含めて組織する。具体案として、音楽事業という観点から若い会員が所属する守谷市文化協会音楽部会会員や会員からの推薦により委員の起用を図り、新しい発想を求める。出演団体については、市内企業における若い音楽グループにも参加を呼びかけ、実行委員として新しい発想を求める。見直しを図った運営組織により、出演者数、集客数の目標を毎年掲げ、達成方法について検討する。市も積極的にホームページや広報はもちろん、コンビニ等の協力を仰ぎPRに努める。職員動員については、平成25年度は前年度に比べ1名減により実施したが、今後も極力減員するよう努める。</p>	
		平成26年度予算への対応	
運営組織の構成や参加団体の見直し等のため予算の影響なし。			

平成24年度守谷市議会重点事業評価に対する対応について

	事業名		
6	給食センター生ごみ堆肥化事業	事業に対する提案	休止・廃止する
		出来るだけ早い時期に、常総環境センターが行っている生ごみ堆肥化事業に移行すべきである。移行するためにどのような問題があるのか調査し、現段階で問題解決の方策を作成し、計画的に移行する。	
		所管部署の考え方	
		常総環境センター生ごみ堆肥化事業への移行に関する問題解決に取組み、最終的な事業休止・廃止を目指す。 <取組内容> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常総環境センター生ゴミ堆肥化事業の現況・課題調査</li> <li>・常総環境センター加入市対象職員間の事務協議のための手続及び協議</li> <li>・管理者会及び事務組合議会への要請</li> </ul>	
		平成26年度予算への対応	
なし（現段階では移行の見通しがたたないため、継続して実施する）。			